

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

今月の表紙

今月号の表紙は、こつた凧揚げまつりの写真です。今年は適度に風も強く絶好の凧揚げ日和となり、大凧、小凧などたくさんの方々が幸田町の新春の青空に舞い、会場は大いににぎわいました。(凧揚げ大会の結果、関連記事は10ページ)



サークル紹介

この指とまれ

92



【習字「自然」】
高須 彩佳さん

みんなの作品展!



【陶芸】
金澤 カツ子さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

バドミントンクラブ「シャトルズ」

バドミントンクラブのシャトルズです。毎週土曜日の午前中に、豊坂小学校の上にある勤労者体育センターで楽しい仲間が集まり、わいわい練習しています。

バドミントンは屋内競技なので、日焼けしないし、雨が降っても大丈夫。また、突き指などのけがも無く、用具も安くてファッションナブル。卓球・ゴルフのアイちゃんのようなスター選手の登場

が待たれますが、現在世界トップクラスの女子ダブルスが出てきているので、大ブレイクも間近です。

「レベルを問わず、来るもの拒まず」で、この写真以外にも老若男女のメンバーが待っています。「ちょっと運動不足かな」と思いのあなた、一緒に体を動かしましょうか?

代表者 伊藤 敏彦
☎ 62 - 7380

この欄に掲載希望のサークルは、はがきにサークル名と連絡先、活動内容を簡潔に書いて企画情報課へ。おってご連絡します。

寒い日の言葉

「しみっこい」

2月。暦の上ではもう春だといつのに……

「今日はふんとんしみっこいといかんわ」

「ほんなこと言ってるあなた、一日中コタツんもんぐつとるつもりかん!」

「今日はとても冷えるから困るよ」

「そんなこと言ってるあなたは、一日中コタツにもぐり込んでるつもりなの!」

という意味です。

「しみっこい」の「しみ」は「しみどろぶ」の「しみ」と同じく、凍るあるいは凍りつくように寒い意味の自動詞「しみる」からきています。この「しみる」は現在、主に東北地方で使われ、この地方では使われません。しかし、寒風吹き荒む真冬の寒さとは異なり、くもりなどの日のしんと骨身にしみ入るような寒さをこの地方では「しみっこい」と形容します。

(文・じろぎ)



青春トークリレー

第155走者

どいともひろ
土井 知弘さん

大草区在住 24歳
音楽・楽器
身長 170cm A型

こんにちは。幸田町は周辺に山や川など自然がたくさんあって、場所によっては少なくなったホテルやメダカなども見ることができます。最近、こうした自然と触れ合う機会が少ない人が多い気がします。とてももったいないことです。最初はイベントなどを利用していいので、ぜひもっと身近な自然と遊んでみてください。幸田町はそれができるまちだと思います。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



「昨日はたぬきを助けたよ」
「へえ・・・本物のたぬきかね」
「顔にしわがあったから、おやじたぬきだね。車に足をひかれて倒れてたよ」
「かわいそつに」
「皆で、運ぼうとすると、怒ってね。うなるんだよ」
「そりゃ、狸汁にでもされるかと心配したんじゃないかね」
「小屋に運んで温めて寝かしてやったら元気になって

たぬきの恩返し

生きがい
ヤンターだより
「某月某日」

「ね」
「いいことしたね。恩返しがあるかもしれんよ」
「それがな、昨日夢にそのたぬきが出てきたんだよ」
「ほー。お金でも運んできてくれたかね」
「ゴルフ大会に行ったら、おやじたぬきが出てきて、俺が打ったボールをころがして穴にいれるんだ。おかげで優勝さ。商品たくさんもらって、家族も喜んでくれて。よかつたな。」
「めでたし、めでたしってとこだね」
「久しぶりにいい夢みたよ。正夢になるといいな」
「まあ、優勝するにはたくさん練習することだね」
「それしかないか。でも練習しても無理だろうな・・・」



やさしい会員さんたちは
今日も仕事に遊びにとが
ばっています。

今月の表紙はこつた風揚げまつり。私が広報担当となって風揚げの取材に行くのは今回で3回目ですが、過去2回は強風と無風と写真を撮る側からするとあまりよくない天候ばかり。今回も前々日の天気予報は雪となっていて、「今月の表紙は出初め式か成人式かなあ」と思っていたところ、見事な晴天。風も適度に吹いていて、とてもよい環境で写真を撮ることができました。幸田町の伝統行事となりつつある風揚げまつり。これからもずっと続けていってほしいものです。(D)

6434人の尊い命が失われた阪神大震災から11年を迎えた。心からご冥福をお祈りするとともにその教訓をいかし、私たちが「いつおきてもおかしくない」地震への備えをしなければならぬ。連れが集まる新年会で、ある友達がボソリと「俺は近い時期に地震があると感じるんだ！」・冷静を装う心のなかで、オイオイツいに来るのか、そつだ、いろいろなデマに惑わされてはならないゾ。話半分で聞こうなどと思いがどら、つい「そ・それでこの辺はどうなんだ？」少し間をおいて・「大丈夫だ」。ほつと胸をなでるし家に帰った2日後、長い時間揺られる地震の夢を見た。デマに惑わされやすい性格があ!?。しかし皆さん地震の備えは確実に(O)

ちよと
編集者の
ひらりと